

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2025年本屋大賞

本屋大賞

ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『アルプス席の母』

早見和真◆小学館

『カフネ』

阿部暁子◆講談社

『禁忌の子』

山口未桜◆東京創元社

『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂ミチ◆小学館

『小説』

野崎まど◆講談社

『死んだ山田と教室』

金子玲介◆講談社

『spring』

恩田陸◆筑摩書房

『生殖記』

朝井リョウ◆小学館

『成瀬は信じた道をいく』

宮島未奈◆新潮社

『人魚が逃げた』

青山美智子◆PHP研究所

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は23年12月1日から24年11月30日の間に刊行された（奥付に準拠）日本の小説（判型問わずオリジナルの小説）

Supported by

NOLTY®

手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。